

1945年8月

広島・長崎原爆投下

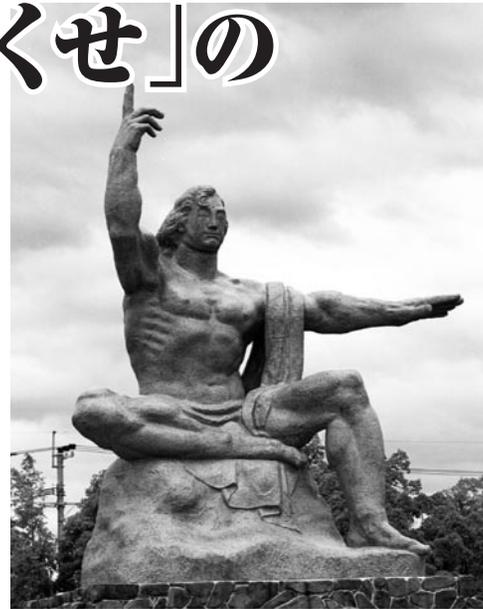
いま「核兵器なくせ」の 声が世界中に

いまから66年前、広島と長崎に投下された原爆は、街を破壊しつくし、20万人以上もの命を奪いました。原爆はいまもなお、被爆者のいのちと健康、くらしを脅かしています。

「人類と核兵器は絶対に共存できない」——福島原発事故をまのあたりにし、核兵器廃絶をもとめる声が世界であらためて大きくひろがっています。



広島・原爆ドーム



長崎・平和祈念像

2011年3月

福島第1原発事故

東電・政府はただちに 被害の全面補償を

震災から5カ月。いまだに収束の見通しさえたえず、被害を拡大しつづける原発事故。「安全神話」にどっぷりとつかり、批判や警告を無視して何の対策もとらなかった、歴代政府と東京電力が引き起こした「人災」です。

政府は、その反省にたつて、放射能被害から住民の健康をまもるためにあらゆる対策をとるとともに、生活再建のための全面補償をただちにおこなうべきです。



福島をはじめ全国から2万人が参加した「原発ゼロ」をめざす7・2緊急集会＝7月2日、東京・明治公園

“放射線”の被害をこれ以上ださないために

「核兵器のない世界」 「原発ゼロの日本」を

66年前に原爆の被害をうけ、いままた原発事故に苦しむ日本こそ、放射線による被害をくりかえさないとりくみの先頭につぶすべきです。

日本共産党は、「核兵器のない世界」「原発ゼロの日本」を願うみなさんと力をあわせてがんばります。

日本共産党

購読
申込書

印をおつけください ● 日刊 月3400円 ● 日曜版 月800円

お名前

住所 〒

☎



2011年8月号外

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

お申し込みは、お近くの党事務所または党員か、右記まで。ホームページからも申し込みます。

ホームページアドレス●<http://www.jcp.or.jp/>